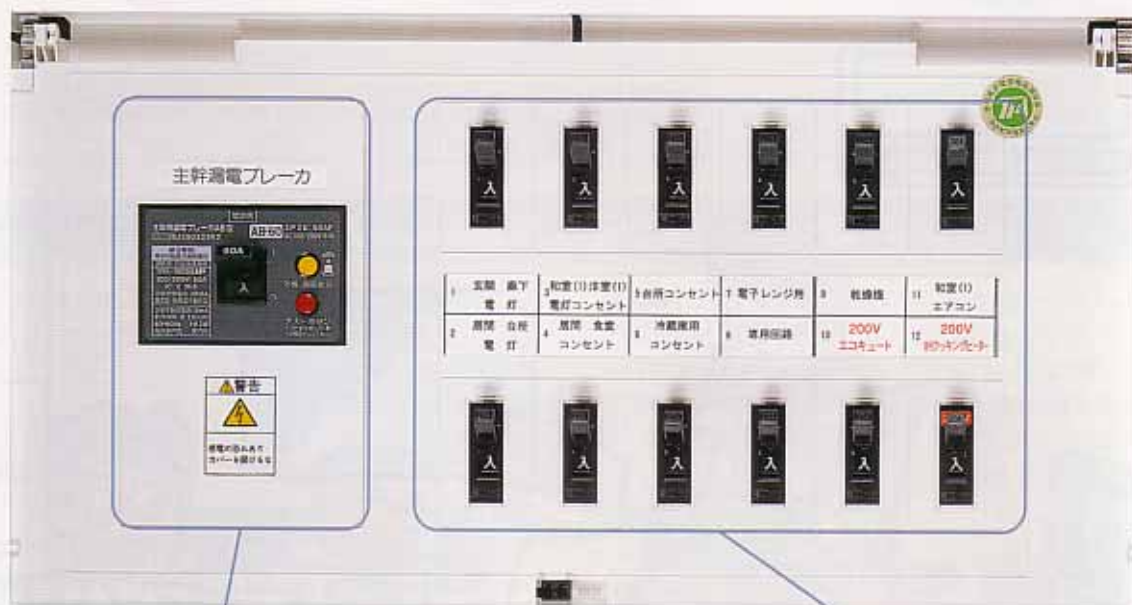


# あなたの家の 電気を見守る分電盤

私たちの快適な暮らしを支えてくれる電気。家庭に送られてきた電気は分電盤を通して各部屋に届けられます。分電盤には、漏電遮断器（漏電ブレーカー）、配線用遮断器（安全ブレーカー）が取り付けられていて、電気の安全をしっかりガードしています。万一の場合にそなえて分電盤がどこにあるのか、確かめておきましょう。



## ろうでんしゃたんき 漏電遮断器（漏電ブレーカー）

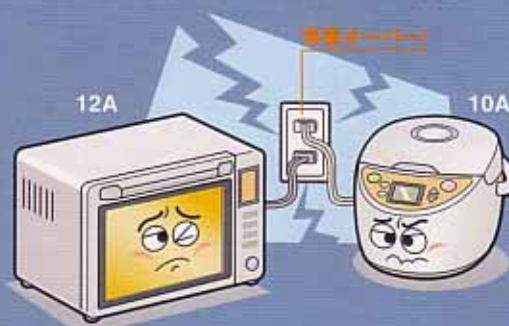
感電や火災の原因となる漏電をすばやくキャッチし、自動的に電気を止め、電気事故を未然に防ぎます。取り付けしていないご家庭には、安全のために、取り付けをおすすめします。



漏電している電気器具があると漏電遮断器が作動します。

## はいせんようしゃたんき 配線用遮断器（安全ブレーカー）

電気の行き先（回路）ごとに、それぞれ容量20A（アンペア）の配線用遮断器がついています。コードがショートした場合や器具の使いすぎで20Aを超える電気が流れると、その回路の遮断器が切れて電気をストップします。エアコン、電子レンジ、衣類乾燥機などの電気を多く使う器具は専用回路にすることをおすすめします。



電子レンジ(12A)と電気炊飯器(10A)の合計で22Aとなり、配線用遮断器の容量(20A)を超えています。

**電気の工事は  
電気工事店へ**

電気の屋内配線工事は、「電気工事士」の資格を持った人が安全基準を守って工事をするように決められています。漏電遮断器の取り付けやこわれたコンセントの取り替えなど、電気の工事が必要なときは、素人工事はせ

ずに、電気工事店に依頼してください。専用回路を増設する場合は、電力会社との契約内容が変わる場合があります。くわしくは電力会社へおたずねください。